

岩見沢赤電保存会 事業計画書

◆岩見沢赤電保存会の目的

岩見沢市栗沢町上幌に保存された「711 赤い電車」を末永く良好な状態で維持、管理するとともに、地域活動の場としての役割を担う施設として保存運営していくことを通し、歴史的、文化的に貴重な車両を後世に残し、北海道の鉄道車両の歴史継承、並びに過去、鉄道の街岩見沢として歩んできた地域アイデンティティの復権に寄与する。

1. 活動方針

■保存会の目的を達成するために、下記の活動を行う。

- ① 中長期保全活動
 - ・保存状態を良好に保つため、必要に応じて全体規模の塗装や環境整備計画を作成。
 - ・計画に合わせて特別事業等としての保全活動を展開する。
- ② 短期保全活動
 - ・適宜、交代制で車内清掃や車内グッズ販売等を行う。
 - ・急を要する修繕や整備の実施。
- ③ 周知活動
 - ・赤電の事をより理解していただくための周知活動を随時行っていく。
 - ・新たなファンづくりを実現するための計画及び活動を行う。
 - ・既存のファンにより親密になってもらうための計画及び活動。
 - ・Web による発信を行う。
 - ・年に1度の広報誌発行。
- ④ 大地のテラスとの連携活動
 - ・赤電車と大地のテラスに相乗効果となるイベントやイメージ戦略の実施。
- ⑤ 他団体活動との連携
 - ・鉄道系団体や地域活動団体との連携を行う。

2. 資金計画

■収入

①会費収入：

- ◇会員制 正会員 3,000 円（年額）とし、会員には会員証、会報等特典を提供するとともに車内に会員名簿を掲示
- ◇寄附金 会員組織のほかに寄付金を募る
- ◇広告収入 車内広告を模したものや、中吊り広告等の参加者を募集する。価格設定等は別途計画を立てて世話役会で承認
- ◇その他 車両ネーミングライツ/web バナー広告など

②物品販売収入

◇全ての物販等は赤電車の運営、維持管理のためと明記

◇販売品（例）：赤電ステッカー／赤電 DVD／実車塗装片／絵葉書／カレンダー／赤電クッション／赤電ぬいぐるみ／赤電抱きまくら／お酒類のラベル／バンダナ／キーホルダー等々で、製作が容易で現地で売れる、若しくはネット販売が可能なものを中心に随時検討していく。

□インセンティブ(会員や寄付者への返礼的アクション)

- ・車内広告的名簿貼りだし(会員枠／寄付枠 3,000 円以上)を実施。年度2回を目安に追加掲載を行う。
- ・web サイト掲載

□入金方法

- ・事務局持参／事務局郵送／口座（ゆうちょ）振り込みの3種類とする。

■支出

- ①web 管理維持費（初年度経費） 10,000 円
- ②事務費 会員証等発行費（正会員 200 名想定）
郵送料 82 円＋印刷費 20 円＋封筒等必要経費 28 円≒130 円×200 名=26,000 円
- ③会報発行費（正会員 200 名想定）
郵送料 82 円＋印刷費 20 円＋封筒等必要経費 28 円≒130 円×200 名=26,000 円
- ③グッズ資材等仕入れ金
(例) 塗装片の容器や DVD 等の原材料費、ステッカー仕入れ費など (概算) 30,000 円
- ④消耗品費
(例) 事務用品、車内名義告知や日常の補修清掃等に関わるもの (概算) 50,000 円
- ⑤保全費
(例) 711 の保全にかかる費用～塗装材料等 (概算) 200,000 円
- ⑥イベント費
(例) イベント等を行う場合の考え得る費用 (概算) 50,000 円

支出計（概算）392,000 円

★会費等収入（年会費 3,000 円）×200 人=600,000 円

（支出概算）392,000 円

（差額）208,000 円 + 寄附・グッズ収益等を中長期保全費用として積立

3. 運営組織

事務局所在地

〒068-0112 北海道岩見沢市栗沢町上幌 2203 番地 株式会社道下産地内

メールアドレス info@iwamizawa711.com

世話役会

代表 平野義文

副代表 今井一郎

会計 長野博樹

事務局長 佐々木尊洋

事務局次長 花輪和明

世話役会員 大日方弘之 折野英行 木種憲博 高橋洋文 田中均 羽鳥博史 丸山裕司 山本智大

世話役会の任期は1年とし毎年改編を行うが、任期を連続も可能とする。